

## 学級活動の時間で活用する ～勤労～

阿武町立阿武中学校 藤田 多恵子

### 1 本場面におけるポイント

#### ● キャリア学習への動機付け

生徒一人ひとりが抱えている夢や将来希望する職業を、勤労観の視点で捉え直し、今後の「職場体験学習」や「職業調べインタビュー」を充実させるための動機付けとする。

#### ● 道徳的価値付け

将来の就労が社会貢献や世界の発展にもつながることに気付かせることで、勤労の尊さや働くことの意義を理解させる。

### 2 授業の実際

#### 1 題材名 職業と将来の生き方～なぜ、私たちは働くのだろう

(出典「中学生活と進路1」山口県中学校教育研究会特別活動部会他)

#### 2 ねらい 働くことの意義について考える。

#### 3 展開

##### (1) 導入 「私たちの道徳」

職場体験学習に向けて、これから様々な職業について学習したり、職業インタビューを行うキャリア学習がスタートすることを告げる。

教師：なぜ、人は働くのだと思いますか？

生徒A：お金を稼いで、安定した暮らしをするため。

生徒B：好きなことを生かして、充実した人生を送るため。

教師：人それぞれ様々な理由がありますね。今日は、働くことの意義について考えたいと思います。「私たちの道徳」P172を読み、働く目的は他にないか考えましょう。

##### □ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

働く理由について、生徒からは「お金のため」（経済志向）や「好きなことをするため」（個人志向）などの意見が多い。資料には「夢の実現」（名誉志向）や「人の役に立つ」「社会を発展させる」（社会志向）ことにもつながる、とあり、社会貢献にもつながる勤労の価値に気付かせる。

##### (2) 展開 「中学生活と進路1」

資料P16～17から、働く理由には人それぞれあり、いろいろな働き方があることを知る。また、働く目的や理想的な仕事についての調査結果をもとに自分に合った働き方を考えさせる。



教師：「中学生生活と進路1」P17のグラフ（平成25年内閣府調べ「国民生活に関する世論調査」）を見て「働く目的」について気付くことを挙げましょう。

生徒C：「働く目的」にお金を得るといふ人は、10年前もほぼ半数でほとんど今の割合と変わらない。

生徒D：社会の一員として務めを果たすためという人や、自分の才能や能力を發揮するためという人が少しだけ10年前よりも増えている。

教師：では、「理想の仕事」の調査結果のグラフと合わせて考えるとどんなことに気付きますか？

生徒E：「働く目的」がお金を得るためという人が約半数なのに対して、「理想の仕事」については、半数以上の人々が、自分にとって楽しいことと、収入の安定を理想としている。

教師：他にありませんか？

生徒F：高収入を得られる仕事を理想とする人は、意外と少ないことが分かります。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」資料P172にあるように、「収入を得て生活を維持することだけでなく」という文章に着目させる。経済的な理由は外せないが、「高収入が得られれば、好きでないことややりがいの感じられない仕事でも構わないのか。」、あるいは、「自分にとって好きな仕事であれば、収入が安定していない仕事でも構わないのか。」などを切り返しの問いとして個人およびグループで考えさせる。



(3) 終末 「私たちの道徳」

教師：この時間に考えたことを「私の考える働く意味」というテーマで書きましょう。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」P177「saying」からの引用「人はどんな場合にいても常に楽しい心をもって仕事をすることができればすなわちその人は真の幸福な人といひ得る。」（国木田独歩）を参照し、「楽しい心」の捉え方について、人それぞれ違うことを押さえつつ、本時の主題を深める。

**3 実践を振り返って**

職場体験学習に向けての心構えとして、「勤労」について考えを深めることができた。「私たちの道徳」の内容には、キャリア学習を効果的に進めるための手がかりが盛り込まれている。今後も学習を進める中で、「礼儀」や「目標をめざしやり抜く強い意志」などの内容項目も扱うことができるかと期待している。

